

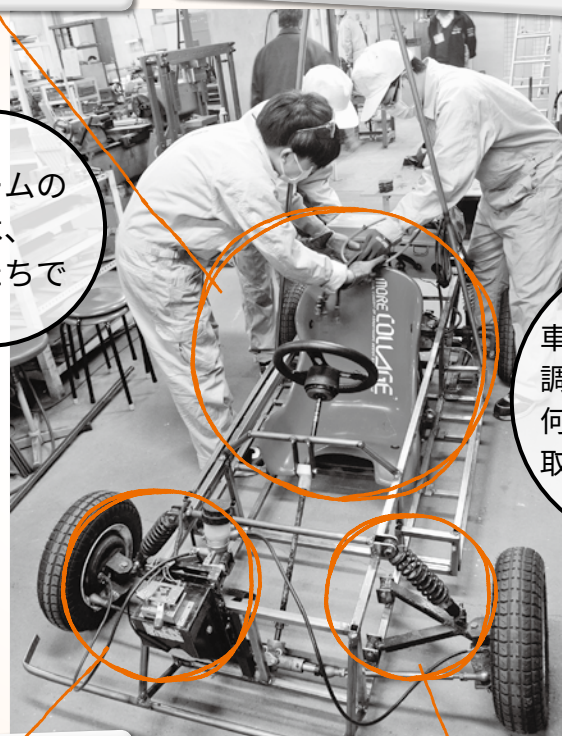
車を作るって、調整の連続



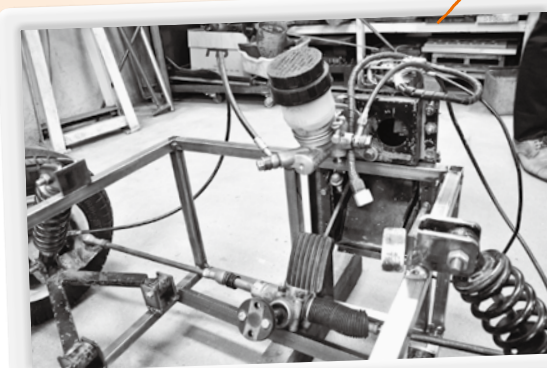
1月中旬のEVカーの製作現場。まだまだ完成には時間が掛かりそう。残り1か月で完成を目指す！



フレームの溶接は、自分たちで



車輪とハンドルは調整のために何度も取り付け、取り外しをします



福 山大学工学部機械システム工学科では、授業の一環で、毎年EVカーの製作をしています。設計から完成までの製作期間は、4人で作業しても4か月ほど掛かります。人が乗り込む座席やタイヤ、エンジンなどは、前年使用したものを使い、フレームの構造や材質などに工夫を加え組み立て、溶接などを行います。

自作のEVカーに、トラブルはつきものです。電気系統、サスペンション、エンジンとさまざまな調整しては、試走を繰り返し、走行できるEVカーを完成させます。しかし、苦労して完成させたEVカーですが、かつては、走行できる場所がなく、完成させて終わりでした。

完成したEVカーが走行できて、各地から参加できるような大会をしようと立ち上がった一人が、福山大学工学部 講師 小林正明さんです。

小林さんのインタビューは、次のページ。

特集 熱い思いを乗せて走れ

学生部門、一般部門、EV部門、手作りエンジン部門とさまざまなレギュレーションでレースが行われます。本物のオートレースを見に行きませんか。

問い合わせ先 地域振興課 (☎43-7118)

EV&ゼロハンカーレースは、
2月15日(土)・16日(日)に
桜が丘グランドで開催！



昨年の開催の様子



ゼ ロハンカーとは、自作のフレームに50CCエンジンを搭載して、ダート走行可能なサスペンションを備えた車両のことです。10年前から桜が丘グランドで毎年開催されてきた「全日本EV&ゼロハンカーレースin府中」は、今年から2日間の日程となり、参加型イベントも増え、パワーアップして開催します。

10回を区切りに、最後になっってしまう

10年間にわたり継続して開催してきましたが、運営が困難になる部分も出てきたため、10回を区切りとして終了しようという話が出ていました。しかし、東北から沖縄までの一般、大学生、高校生の参加者から継続の要望や長年にわたり継続し、ゼロハンカーを自作するという、府中が誇るものづくりに通じる点があり、市も協力する実行委員会で開催することが決定しました。

今年も完走に感動し、リタイヤに涙する感動のレースが桜が丘で開催されます！